

日本発達心理学会第32回大会(リモート)プレカンファレンス
日本発達心理学会・「教育・発達」心理資格連絡協議会共催シンポジウム
「公認心理師における『教育・発達』的観点の意義と可能性
—その1:教育分野における公認心理師の職域開発と養成—

- 日時:2021年3月27日(土)13時-15時
- 方法:Zoomを用いる予定です。詳細は後日お示しします。
- 参加費:無料
- 予約:本プレカンファレンス専用の事前登録をお願いします。詳細は後日お示しします。
*3月より事前登録開始の予定です。<http://www.jsdp.jp/jsdp2021/pre-B.html>
- 共催:(一般社団)日本発達心理学会・「教育・発達」心理資格連絡協議会
- 後援:(一般社団)日本心理学諸学会連合、(一般社団)日本公認心理師協会、
(一般社団)公認心理師の会
- 問い合わせ先:「教育・発達」心理資格連絡協議会事務局(プレカンファレンス担当)
jsdp2021.preconference2@gmail.com
*メールアドレスの@マークを半角@に変えて送信願います。
- 資格更新研修ポイント:臨床発達心理士…資格更新ポイントは(1)区分研修会として0.5ポイントの付与、学校心理士、特別支援教育士(申請中)

< 趣旨 >

公認心理師は、保健医療、教育、福祉、産業、司法の各分野の汎用的な国家資格として設立され、2018-2019年度には第1回、第2回国家試験が実施され、約36000名の公認心理師が誕生した。

「教育・発達」心理資格連絡協議会は、日本心理学諸学会連合と連携し、国会での院内集会の開催、国会議員への陳情、10万人署名などへの協力を通して、心理学の基礎研究に裏付けられた包括的アセスメントとそれに基づく支援方法を有する「公認心理師」の設立に貢献してきた。

現任者講習会テキストや試験出題基準で提示され強調されている「生物・心理・社会モデル」には、以上の理念が反映されているといえるが、今後、アセスメントや支援方法においては、「教育・発達」的観点がより適切に反映されるように働きかけてゆく必要がある。

公認心理師の5つの分野のひとつである「教育分野」における具体的な職域として、現在は「スクールカウンセラー」や「通級指導教室の巡回相談員(東京都)」等があるが、今後、より広い「スクールサイコロジスト」的な役割や、特別支援学校や特別支援学級などでの「個別の支援計画」作成や支援、予防的心理教育などでも公認心理師の職域の開発・拡大が期待される場所である。また、その養成が大学・大学院においてどのようになされる必要があるかも大きな課題である。

本シンポジウムでは、生まれたばかりの公認心理師の今後の成長を願い、保健医療、教育、福祉、産業、司法領域において、「教育・発達」的観点がどのような貢献をし、従来の心理支援の枠組みを超えた、新たな「教育・発達」的観点による支援方法の可能性、また「教育・発達」的観点に基づいた、大学での公認心理師の養成について共に考えていきたい。

その第1回目として、今回のシンポジウムでは、「教育分野」における公認心理師の職域開発と養成について「教育・発達」的観点による様々な現場での実践を通して、共に考える機会としたい。

<プログラム>

●開会挨拶・企画趣旨

花熊 暁((一般財団)特別支援教育士資格認定協会理事長)

●話題提供

1. 石川悦子(こども教育宝仙大学こども教育学部)…スクールカウンセラーとしての公認心理師の専門性と課題
2. 黒田美保(帝京大学、日本臨床発達心理士会幹事長)…特別支援教育の巡回相談における公認心理師の専門性と課題:東京都での経験を通して
3. 大矢正則(東星学園小中高等学校・校長)…管理職・教育相談コーディネーターとして公認心理師の活用
4. 川野健治(立命館大学総合心理学部総合心理学科)…心理予防教育における公認心理師の役割

●指定討論

石隈利紀(東京成徳大学、((一般社団)学校心理士認定運営機構理事長、「教育・発達」心理資格連絡協議会代表)

●応答・全体討論

●進行:長崎 勤(実践女子大学、「教育・発達」心理資格連絡協議会事務局)

付記:「教育・発達」心理資格連絡協議会参加団体

一般社団法人日本発達心理学会、一般社団法人日本教育心理学会、一般社団法人日本LD学会、一般社団法人日本特殊教育学会、日本感情心理学会、日本学校心理学会、日本応用教育心理学会、日本コミュニケーション障害学会、日本学校カウンセリング学会、日本生徒指導学会、日本質的心理学会、日本 K-ABC アセスメント学会、一般社団法人学校心理士認定運営機構、日本学校心理士会、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構、日本臨床発達心理士会、一般財団法人特別支援教育士資格認定協会